

講義コード	21G2107400	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当者氏名		開講期	
科目名	子ども虐待とソーシャルワーク				藤高 直之		2期		
履修前提条件									
授業の目的	<p>児童虐待防止法施行以降、児童虐待への関心は高まっている状況にある。社会的養護とは、虐待対応のみでなく広く「子どもの権利」について国、自治体が責任を負うことを指している。これは全ての子どもに対しても共通する安全、安心な社会環境が重要であるということを前提としている。この社会的養護に関わる中心的な機関である児童相談所の役割と実際、児童福祉施設、里親制度等について理解することを目的とする。</p>								
到達目標	<p>児童福祉法、児童虐待防止法を根拠とした現状の施策に対して、その歴史や重要な事項について理解し、説明できる。 児童虐待の種類とその背景、児童相談所の機能、現状と課題、児童養護施設、乳児院などの児童福祉施設の実際、及び里親の種類と実際について、類別でき、全体の概要が説明できる。</p>								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	<p>実際の現場を知らないため理解が難しいため、児童福祉施設の見学、ボランティア、又は実習などの体験をしてもらうことが望ましい。また、児童虐待、非行、DV、不登校等に関する報道等に関心を持ちメモをとるなどの姿勢を望む。本科目では、60時間以上の授業外学修を行うこと。 授業では、毎回レジュメを配布する。</p>								
授業計画	<p>【第1回】児童福祉法と社会的養護（社会的養護に関わる制度の実際について） 【第2回】児童虐待防止法の概要（成立の社会的背景、虐待の種類等について） 【第3回】児童福祉相談所の機能（社会的養護に関わる児童相談所の機能の実際について） 【第4回】児童虐待が子どもと家族に与える影響について 【第5回】児童相談の種類と施設（非行相談と施設について） 【第6回】児童相談の種類と施設（心身障害相談と施設について） 【第7回】児童相談の種類と施設（性格行動の相談と施設について） 【第8回】児童相談の種類と施設（養護相談と施設について） 【第9回】児童虐待事例検討（身近な問題を考える） 【第10回】児童虐待事例検討（深刻な問題を考える） 【第11回】児童福祉施設の運営（児童福祉施設の特徴、職員の資格、業務等について） 【第12回】里親制度の現状（里親の種類、制度の運営等について） 【第13回】里親と養子縁組（里親と養子縁組の違い等について） 【第14回】子どもの権利を考える（子どもの権利条約と現行の社会的養護の制度について） 【第15回】全体の振り返り</p>								
成績評価の方法	<p>授業態度（50%）と期末レポート（50%）で評価する。</p>								
フィードバックの内容	<p>リアクションペーパーに対するフィードバックを翌週授業にて行う。</p>								
授業実施形態について	<p>対面授業で実施する。</p>								
教科書									
書籍名	著者		出版者		出版年		ISBN/ISSN		
指定図書									
書籍名	著者		出版者		出版年		ISBN/ISSN		
参考書									
書籍名	著者		出版者		出版年		ISBN/ISSN		
教員からのお知らせ	<p>日々の子ども虐待防等の社会的養護に関わる報道等に関心を持ち、授業に参加してください。</p>								
オフィスアワー	<p>本授業に関する質問・相談は、オフィスアワーにて対応します。</p>								
アクティブ・ラーニングの内容	<p>ディスカッション、グループワーク</p>								
その他									